

様式第1（その2）

⑧

代表者の印（実印）を押してください。

先進環境対応トラック・バス導入加速事業実施計画書

申請者の 事業者番号 ^{注1)}	申請者がトラック運送事業者の場合記載（数字12桁）です。 （大型CNG車・EV車に限る）		
リースを利用する場合の 補助対象車両使用者 （貸渡し先）	氏名又は名称 （事業者番号 ^{注1)} 住所：	申請者がリース会社の場合にのみ記載です。	
補助対象車両 （先進環境対応車） *該当する区分に○を 付す。	登録番号 車台番号 製造者名：**自動車株式会社 車名：○○自動車 型式 ^{注2)} ：AA-BB** 先進環境対応車の種類*：FCV EV PHEV CNGV 区分 ^{注3)} ：○大型 中型 小型 トラック バス 台数 ^{注4)} 2台 抵当権の有無*：○有 無	対象車（HV・CNGV等）の型式が同じ場合は、台数分記入できます。	
<ul style="list-style-type: none"> ・大型CNG車及びHV車は車種別、型式別に事前登録されている金額です。 ・その他の車種は基準額を参考として見積額から積算された額を記載して下さい。 	（の導入）に係る本補助金以外の国の補助金の交付 無： 有 無	（愛知県**市）	距離 385km
		（東京都羽村市）	
	**市県道—東名高速—中央高速—国道—羽村市		
所要経費		金額	
(1) 補助対象経費（補助対象車両価格） ^{注6)}	25,000,000円		
(2) 寄付金・補助金その他の収入	0円		
(3) 補助対象経費支出予定額（(1)-(2)）	25,000,000円		
(4) 基準額 ^{注7)}	4,000,000円		
(5) 補助金所要額 （3）と（4）を比較して少ない方の額（算出された額に1,000円未満の端数が生じた場合には、これを切り捨てるものとする。）	4,000,000円		
(6) 補助金交付申請額（(5)×台数）	8,000,000円		

注1) 補助対象車両を交付規程別紙1の2の表の注2に定める貨物自動車運送事業の用に供する場合にのみ記載する。

注2) 交付規程別表注1に規定する車両情報の登録を行っている型式であること。

注3) 補助対象車両の区分における大型、中型、小型とは、交付規程別紙1の1③の表第1欄に記載の区分のとおりとする。特種車の場合は改造前のベース車両について記載する。

注4) 車名、型式、先進環境対応車の種類、区分（以下「区分等」という。）が同じ車両の申請台数を記載する（交付規程第5条第1項において補助対象車両を既に補助対象車両を購入済みである場合を除く）。なお、種類等が異なる場合は、本様式（その2）を複数枚記載して添付する。

注5) 高速走行を主体とした使用計画であること。

注6) 補助対象経費に係る消費税のうち、仕入控除を行う場合における仕入控除の対象となる消費税相当分については、補助対象としない。

注7) 交付規程別表注2の規定により算定した額とする。その際、架装物等動力構造以外の部分の変更に係る費用を除いて実施要領別表第3欄に掲げる経費を算定した場合は、これら費用の内訳に係る資料を添付するものとする。

